

會報

ALUMNI BULLETIN OF AZABU UNIVERSITY

発行日：2025年3月1日
 発行者：一般社団法人麻布大学同窓会
 発行責任者：福山 守
 〒252-5201
 神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-17-71
 T E L：042-769-2183
 F A X：042-759-0337
 Email：doso@azabu-u.ac.jp
 HP：https://azabu-doso.com/



CONTENTS

寮生大会開催報告	2
動物応用科学科2年次 クラス会 ・ 環境保健学部第一期卒業生 同期会	3
支部総会開催報告	4-5
ラグビー部OB会総会 ・ 馬術部創部90周年祝賀会	6-7
計報	7
大学祭活動報告 ・ 令和6年度～令和7年度 麻布大学行事予定	8

麻布大学同窓会トピックスは、「学園情報」の12～13頁に掲載しております。

寮生大会開催報告

寮歌を熱唱！

学生寮の思い出を胸に麻布大学に感謝を

学生寮 (1965年入学案内より)



令和6年7月23日(火)~24日(水)、群馬県渋川市 伊香保温泉 千明仁泉亭において第8回 麻布大学 寮生大会を開催しました。

この寮生大会は、昭和49年4月の入寮者を対象とした同期会で、平成4年5月に第1回を、その後は概ね4年に1回ペースで開催していましたが、今般のコロナ禍で延期されました。大会会場は従来、大学構内の旧寮生食堂や獣医学部棟ラウンジ、淵野辺の飲食店でしたが、たまには地方の温泉地もいいのではないかとの声に応え、伊香保温泉になりました。千明仁泉亭は麻布大学同窓会群馬県支部の常宿で、毎年6月に開催する通常総会の会場となっております。

今回、寮生大会を群馬県で開催することになったことから、群馬県人としては出席者への最大のおもてなしを、ということで、宿泊部屋は平成15年1月、現在の天皇陛下が当時皇太子のときに雅子妃と宿泊・執務さ

れた部屋を用意しました。今回の出席者は、北は新潟(佐渡)、南は徳島・兵庫からの精鋭15人。悲しいかな回を重ねるごとに体調不良者が増え減少傾向にあります。

当時の学生寮は毎年、獣医学科等の地方の新入生を対象に80人程が入寮し、その人数は獣医学科一学年総数の4割を占めておりました。また、2、3年生が数名残寮され、入寮生の指南役をも務められておりました。みんな宿に着くと、群馬の名湯「伊香保温泉」の黄金湯(こがねゆ)にゆっくり浸かり、長旅での疲れを癒していました。

大会は午後6時30分、大会会長である大野裕一氏(昭和50年度寮長・新潟県)の主催者挨拶、続いて入寮時の寮長であった菅澤勝則先輩(昭和48年入寮・千葉県)の来賓挨拶の後、毒島幸一氏(昭和47年入寮・群馬県)の乾杯の発声で始まりました。宴席では各自近況報告を行い、それに対する質疑応答もなされ、古希前

後の元寮生のテンションは右肩上がりとなってまいりました。

大会決議では、次回の大会を2年後とし10回を目途にするとともに、開催日時・場所については大会会長に一任することとしました。大会の締めでは、応援団に所属していた佐藤保彦氏の発声により寮歌「花爛漫の相模の野……」をみんなで熱唱して大会を無事終了しました。

大会終了後、二次会場「スペース蔵」ではカラオケの熱唱や昔話に花が咲き、呑めや唄えの賑わいとなりました。この賑わいは三次会場(両陛下が宿泊された部屋)へ持ち越され、翌日早々に漸く御開きとなりました。

今回の寮生大会は6年ぶりの開催となったことから、再会時における互いの風貌の変化による戸惑いもありましたが、そこは寮で一年間、同じ屋根の下で寝食をともにした同志、瞬く間に50年前の学生寮・麻布モードになったのは流石でした。

誰もが思うことは、これまで、いや現在もこうして獣医師として頑張るのは麻布大学のお陰。団体生活の楽しさ辛さ厳しさを教えてくれた学生寮のお陰と感謝しつつ、これからも沢山の貴重な思い出を胸に、もう少しでもだけ社会と触れ合っていきたいと思えます。

群馬県支部 中澤 五夫



学生寮：大学構内に鉄筋コンクリート3階建て(右上写真・後の4号館)の建物があり、1986(昭和61)年まで、地方出身学生(希望者)の一年次が毎年入寮し、生活をしていました。

学生寮の食堂は閉寮後(1995年~2013年)、カフェテリアとして使用され、学生の食生活を支えていました。(右写真)



4号館(旧学生寮)カフェテリア入口(2007年)



クラス会開催

動物応用科学科2年次

研究室配属に関する親睦会

令和6年12月17日に、動物応用科学科2年次の学生を対象とした「研究室配属に関する親睦会」を開催いたしました。本イベントは、研究室配属先を決めるにあたり、さまざまな教員や室生の方と直接お話しできる



機会を設けることを目的として企画しました。

当日は、1会場に27の研究室の方々にご参加いただき、一度に複数の研究室のお話を伺える貴重な機会となりました。また、動物応用科学科以外の方々にも多数ご出席いただき、これまで講義を通じてしか知らなかった先生方の研究内容に興味もつきかけともなりました。親睦会は2時間という限られた時間ではありましたが、想定を超える参加者に

より、会場は終始活気に満ちていました。本親睦会を通じて、自分に合った研究室像が明確になった方も多いことと思います。なお、同窓会からのご援助により、当日の飲み物とお茶菓子を準備させていただきました。この場を借りて、このようなイベントにご協力いただいた同窓会の皆様に、心よりお礼申し上げます。

動物応用科学科2年次
南部 未来

同期会開催報告

環境保健学部第一期（昭和57年卒）卒業生同期会

卒業後42年 母校の発展充実ぶりに感動

令和6年11月16日（土）午後4時から、学内の「テラスいちょう」にて、同期会としては前回から12年ぶりの開催となりました。

全員が65歳以上となり、人生の一区切りを迎えたこともあり、過去最多の49名の参加者でした。また、川上学長をはじめ、8名の恩師の先生方の参加をいただき、大変に盛況な会となりました。

卒業後42年が経ち、当時の建物は本館を残すだけという様変わりぶりです。卒業後、長い間母校を訪れていない同期生も多いため、学内ツアーを企画しました。呼びかけに26名の参加者が集まり、同期の古畑教授に案内をお願いしました。母校の発展充実ぶりを目の当たりにして、参加者には感

動の構内ツアーとなったようです。卒業以降初めて、あるいは、数十年ぶりに会う同期生も多く、会は2時間という短い時間のなか、手短かに参加者を紹介したあと、同期生どうし、昔懐かしい雑談や近況を報告しあう時間をメインとして進行了ました。淵野辺駅前での二次会も含め、

大変楽しく懐かしい会となりました。元気なうちにもう一度、と声を掛け合いながらの解散となりました。開催にあたり、同窓会事務局には種々お世話いただき、ありがとうございました。

同期会幹事 池淵 守





北海道



岩手県



宮城県



秋田県



福島県



茨城県



群馬県



千葉県



埼玉県



山形県



支部総会開催報告

麻布大学の卒業生は全国で活躍し、都道府県及び横浜市で支部として学園支援活動を行っています。活動報告を行う支部総会は同窓生に会える貴重な機会でもあり、大学からの情報を得る重要な行事となっています。

今年度は37支部で、総会が開催されました（2024年2月まで）。小倉理事長、川上学長を含め、総勢18名の先生方に、大学の近況、最新の研究などの講演をしていただきました。その後の懇親会にもご参加いただき、卒業後も先生方と交流を得られる大切な時間を過ごせました。今回の支部総会の中で、学園の役員として長期にわたりご尽力され、学園の発展に寄与された功績に対して、高橋徹氏（北海道支部）、有賀誠氏（横浜市支部）に、学園より感謝状が贈呈されました。

総会では、現在それぞれの場で活躍されている同窓生による講演を企画し、研修会が行われている支部もあります。現在ご住職の松岡克也氏は「ペット供養の現況」について（群馬県支部）、長年の探鳥歴をもつ伊藤浩先生は「新潟県の野鳥」について（新潟県支部）、東北大で教鞭をとられている中谷直樹先生にはご自身の研究について（宮城県支部）それぞれご講話いただき、どの支部も実りの多い時間を過ごすことができたとの報告があります。

支部総会へ参加した会員は総勢約600名になります。最高齢の出席会員は昭和24年卒業の柳澤太平先生（新潟県支部）、最年少は会員の小学生の息子さん（鹿児島県支部）。交流を深め大学時代の思い出に盛り上がりながら、新しくなった大学の近況を学び、これからも母校の発展を願い、サポート活動をしています。

各支部では、在住会員へ懇親会の案内を郵送し、多くの方に参加いただける会を計画するなどの活動をしています。ぜひ、支部へ連絡いただき、一緒に学園を支援し、同窓生と交流してみませんか。



令和6年度 開催状況 (開催日順)

開催日	支部名	来賓者	開催日	支部名	来賓者
5月12日	栃木県	川上 泰学長	10月20日	石川県	川上 泰学長
6月16日	愛媛県	来賓なし			長井 誠先生
6月21日	群馬県	小倉弘明理事長	11月3日	福島県	折戸謙介先生
6月29日	千葉県	恩田 賢先生		宮城県	川上 泰学長
6月30日	山形県	風間 啓先生		高知県	小倉弘明理事長
7月6日	佐賀県	川上 泰学長	11月9日	宮崎県	川上 泰学長
7月7日	岐阜県	善本 亮先生	11月14日	神奈川県	川上 泰学長
7月13日	茨城県	小倉弘明理事長	11月17日	山梨県	小倉弘明理事長
7月14日	徳島県	川上 泰学長	1月19日	愛知県	小倉弘明理事長
7月20日	福岡県	田原口智士先生	2月16日	広島県	宗綱栄二先生
	新潟県	川上 泰学長	2月22日	島根県	山下 匡先生
	鹿児島県	菊水健史先生			
7月21日	静岡県	平 健介先生			
	富山県	森田幸雄先生			
	三重県	福山 守会長			
7月25日	横浜市	小倉弘明理事長			
7月28日	大阪府	村上 賢先生			
	長野県	小倉弘明理事長			
		福山 守会長			
8月18日	香川県	来賓なし			
8月24日	山口県	塚本篤士先生			
9月7日	北海道	村上 賢先生	9月7日	四国	高知市 福山 守会長
	秋田県	三澤宣雄先生	10月19日	中部	長野市 川上 泰学長
	大分県	岡谷友三			福山 守会長
		アレシャンドレ先生	10月20日	中国	松江市 小倉弘明
9月28日	鳥取県	来賓なし			理事長
9月29日	埼玉県	村上 賢先生	1月24日	東北	仙台市 福山 守会長
10月5日	岩手県	小倉弘明理事長	2月2日	関東	宇都宮市 小倉弘明
	岡山県	大仲賢二先生			理事長

地区ブロック会議
開催状況 (開催日順)

開催日	ブロック	開催地	出席者
7月7日	近畿	大阪市	福山 守会長
8月3日	九州	長崎市	小倉弘明 理事長
			福山 守会長
9月7日	四国	高知市	福山 守会長
10月19日	中部	長野市	川上 泰学長
			福山 守会長
10月20日	中国	松江市	小倉弘明 理事長
1月24日	東北	仙台市	福山 守会長
2月2日	関東	宇都宮市	小倉弘明 理事長



各支部の開催報告については、ホームページからご覧になれます。

総会の写真なども掲載していますので、是非ご覧ください。



<https://azabu-doso.com/subcommittee/branch/>



開催報告

令和6年度ラグビー部OB会総会



ラグビー部は、麻布獣医科大学時代の昭和47年（1972）に鹿児島県出身の津崎潤氏が中心となって創部され、半世紀を超える歴史を刻んできました。創部当時から、故松原利光先生の熱心なご指導のもと徐々に部員数も増えていき、昭和55年（1980）春

の神奈川リーグでは関東学院大学と決勝で対戦するなど、数多くの戦績を残し続け今日に至っています。令和6年11月30日、毎年恒例のOB会総会を「テラスいちょう」で開催し、今年も元OB会長の濱野貴行氏をはじめ多くのOB・OGが参加しまし

た。また、総会に先立ち、総合グラウンド（旧 野間グラウンド）において、現役とOBが互いに混成チームを編成して試合を行いました。近年は部員確保が厳しい状況ですが、7人制大会出場で活動を継続しています。部のOBでもある、大学の田原口智士先生のご尽力により部員の活動が確保され、今日まで部が存続していることは本当にありがたいことです。今年度のOB会総会では、前会長の青木建氏から私がバトンを引き継ぐことになりましたが、今後も、現役部員の更なる活躍のため、OB・OGをはじめ、関係者の皆様からの熱いご支援をいただけると幸いです。

OB会長 渋谷 光彦



部会活動報告

卒業した学部・学科で活動する部会は現在、「獣医部会」「動物応用部会」「生命・環境科学部会」の3部会があります。それぞれ卒業生、在学生に向けて、交流や支援を目的とした活動を年に一度行っています。卒業生の皆さんの参加、協力をいつでもお待ちしております。

「獣医部会」では、第42回日本獣医師会獣医学術学会年次大会にあわせて、麻布大学交流会を令和7年1月24日（金）に、仙台の江陽グランドホテルにて開催し、同窓生の交流が行われました。

「動物応用部会」では、「卒業生と在学生の集う会」を令和6年11月30日（土）に開催しました。卒業生32名が午前中から集合し、会場設置などの準備を行いました。「進路について」、「仕事について」、「将来について」の具体的な職業体験を、先輩としてアドバイスしました。（学園情報誌p13掲載）



「生命・環境科学部会」では、「就職業界研究会」を令和6年11月13日（水）に、生命・環境科学部の先生方と協力して開催しました。部会の代表者は6月ごろから先生方と打ち合わせを行い、卒業生41名31社の企業に参加していただきました。学生との距離の近い説明会を行いました。（学園情報紙p13掲載）



麻布大学馬術部創部90周年祝賀会 ～紫蹄会として支える



1938 (昭和13) 年 卒業アルバムより

数年前にあるOBから「馬術部は創部何年になるの？大学に資料などはある？」と問われたことがありました。そもそも麻布大学は明治23年に東京市麻布区に東京獣医講習所として、解剖、生理、薬物、内科、外科、蹄鉄、病院実習、蹄鉄実習を教授する所として始まりました。これにあるように教科の中心に馬の装蹄・診療が位置づけられていました。当然のことながら大学内には厩舎など馬を飼養する施設などがあり、軍馬調教のための馬術も教育されていたことは想像できました。しかしながら当時の資料は、先の太平洋戦争による戦火によって焼失したことにより大学の図書館には残っていません。調べていく過程で、大学図書館にOBから寄贈された戦前の卒業アルバムがあることを発見し（戦後、卒業生から寄附されたそうです）、その最古のものとして昭和9年に麻布獣医畜産学校から改称した麻布獣医専門学校の卒業アルバムに、馬術部の活動が明確に載っておりました。従いまして、馬術部は昭和9年の麻布獣医専門学校の創立と共に創部したとすることにいたしました。そして令和6年度は、馬術部の発足から90周年を迎える記念すべき年となりました。そこで馬術部OB/OGからなる「紫蹄会」の会長、細野利昭氏が中心となり、馬術部創部90周年記念式典が令和6年9月16日、新宿・小田急ホテルセンチュリーで開催されました。



細野利昭 紫蹄会会長

福山守 同窓会会長

同式典には、来賓として全日本学生馬術連盟会長、(公社)全国乗馬倶楽部振興協会会長、(一社)東京都馬術連盟会長、麻布大学学長、麻布大学理事長、(一社)麻布大学同窓会長、近隣の大学馬術部関係者ならびに乗馬倶楽部代表などをお迎えし、紫蹄会員を加え総勢90名ほどの参加者で開催されました。同式典では、来賓の方々からのご挨拶をいただき、紫蹄会員の思い出話、そして現役学生による「馬術部一年生の唄」が披露され、会場の紫蹄会OB/OGの方々もそれに加わり大合唱となりました。式典を通じて、時が止まったように皆様方の若々しい声が響き渡り、大変な盛会となりました。同窓の強い絆、「麻布っていいなあ～」と感じる時でもありました。

馬術部部长 佐原弘益



訃報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

死亡年	月	氏名	卒業年	居住地	死亡年	月	氏名	卒業年	居住地
令和元年	1月	池澤 聖明	V昭和32年卒	神奈川県	令和6年	10月	佐藤 功	V昭和41年卒	新潟県
令和4年	10月	宮川 秋信	V昭和32年卒	東京都			山口 恭弘	V昭和50年卒	神奈川県
令和6年	5月	多田 匡志	V昭和52年卒	栃木県			西崎 忠義	V昭和42年卒	徳島県
	7月	瀧口 幸憲	V昭和39年卒	宮崎県	11月		乾 正和	V昭和41年卒	兵庫県
	9月	菊田 洋	V昭和33年卒	愛知県			亀山 昇	V昭和33年卒	新潟県
		伊月 高憲	V昭和48年卒	徳島県	12月		山本 一博	V昭和48年卒	島根県
		三田 菊次郎	V昭和40年卒	大阪府	令和7年	1月	太田 友三郎	V昭和39年卒	静岡県
		竹内 重正	V昭和44年卒	青森県			武田 瑠璃子	V昭和43年卒	岐阜県
		星 和夫	V昭和22年卒	千葉県					(敬称略 V=獣医学科)
		新野 博俊	V昭和31年卒	山形県					

大学祭活動報告

講演会、支部出店、動物相談コーナー

令和6年10月26日、27日の麻布大学祭は天候に恵まれ、たくさんの方が訪れました。支部出店では全て完売御礼となりました。交流委員の皆さんは、前日からの準備、大学祭旗と幟（のぼり）を掲げ、最終日の片付けまで今年も大活躍でした。



動物相談コーナーでは、横浜市支部、神奈川県支部、千葉県支部から、現役臨床獣医の会員の皆様のご協力によって、ペット連れのお客様がたくさん立ち寄っていただきました。2日間お疲れ様でした。



大学祭パンフレット協賛にご協力いただき
ありがとうございました。

横浜市・神奈川県・千葉県・
福岡県・静岡県・鹿児島県・
愛知県（掲載順）



詳細について学園情報誌12ページに掲載しています！

**令和6年度～令和7年度
麻布大学行事予定（概要）**

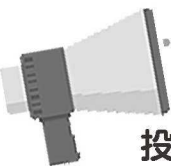
〔令和6年度〕

- ◆ 3月12日（水）
第76回獣医師国家試験
合格発表
- ◆ 3月15日（土）
卒業式・修了式
- ◆ 3月21日（金）
第71回臨床検査技師
国家試験合格発表

〔令和7年度〕

- ◆ 4月6日（日）
入学式
- ◆ 8月1日（金）～9月26日（金）
夏期休業
- ◆ 9月10日（水）
学園創立記念日
- ◆ 10月25日（土）～26日（日）
大学祭
- ◆ 12月27日（土）～1月12日（月）
冬期休業

※掲載の予定は令和7年1月時点のもので
今後変更となる可能性があります。



同窓会会報への 投稿をありがとうございます！

同期会の開催報告など
ぜひご投稿をお願いいたします

- 1 掲載内容 : 同期会、叙勲や受賞など
- 2 文章 : 300字から500字程度
- 3 写真 : 1MB以上を希望
- 4 投稿方法 : メールまたは郵送
doso@azabu-u.ac.jp

掲載については広報委員会で決定します。
※郵送等により受理した生写真は、発行後返却
します。

よろしくお願ひいたします



LINE公式アカウントを
はじめました

ID @723meuhc

同窓会活動の近況や大学構内の
写真を配信しています
ぜひ登録をお願いします。



大学時代の懐かしい場所など教えてください

一般社団法人麻布大学同窓会 広報委員会
 委員長：市原伸恒
 委員：飯塚 修、井上真紀、小澤秋沙、
 黒田聡史、島津徳人、曾川一幸、
 田原口智士、葉山 俊
 印刷：明誠企画株式会社

